

「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 国分区

日 時 平成 21 年 7 月 10 日(金) 19:00 ~ 20:50

場 所 国分共同利用施設

出席者 (市 民) 24 人
(執行部) 15 人

井上市長、平島副市長、關教育長、木村総務部長、
三笠協働のまち推進担当部長、松田市民生活部長、
松永健康福祉部長、新納建設経済部長、宮原上下水
道部長併会計管理者、山田教育部長、松島議会事務
局長

(事務局) 齋藤広聴広報係長、高原主任主査、諫山協働のまち
推進課長、藤田地域コミュニティ推進係長

会議内容 (進行：齋藤広聴広報係長)

- | | | |
|---|-----------------------------|---------------|
| 1 | 開会あいさつ(広聴広報係長) | 19:00 ~ |
| 2 | 区自治会長あいさつ(区自治会長) | 19:02 ~ |
| 3 | 市長あいさつ(市長) | 19:04 ~ |
| 4 | 市職員自己紹介(広聴広報係長) | 19:14 ~ |
| 5 | 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) | 19:16 ~ |
| 6 | 「懇談」質疑・意見交換(広聴広報係長)
(別紙) | 19:34 ~ |
| 7 | 閉会あいさつ(副市長) | 20:49 ~ 20:50 |

	発言の主旨	回答
意見 1	<p>大野城市、筑紫野市、太宰府市の 3 市を比べてみて、大野城市などは若い人が多く、繁華街も有り、賑やかであるが、太宰府市は人を集める場所がない。他所に出て行く人が多い。過疎化を防止するため、若者が働く場を提供するなど、人口増加の施策を実施してはどうか。</p>	<p>(市長)</p> <p>本市のコンセプトは、「歴史とみどり豊かな文化のまち」で、他の都市にない思想、まちづくりの将来像があります。</p> <p>また、そういう立地条件がありますので、例えば福岡市、春日市、大野城市と違い、本市は高度地域制限(絶対的 高度地域制限 30m・20m・15m)の指定をしています。制約がない近隣市は高層賃貸住宅等が建設できますが、本市は低層住宅しか建てられない第一種や第二種住居地域が多いという状況にあります。そういうことから、本市は「人が中心のまちづくり」を進めており、人が多く集まってくるのが望ましいですが、本市の特長を生かすということから、大きな企業を誘致するということは考えにくい部分です。そういうことで、美しい都市の魅力を創出することができ、歴史と緑が守られている部分もあります。</p> <p>よそにない意義を図っているものとして、「歴史と文化の環境税」(法定外普通税)があり、1年で 6,800 万円、累計 3 億数千万円が歳入として入ってきています。身の丈に応じた行政運営を進めていますが、本市は市県民税や固定資産税といった税金の 80 億円が歳入の主力で、法人税はわずか 3~4 億円です。</p> <p>これが、本市の特長ですので、努力はしますが、自然を壊してまで企業等を誘致するのはいかななものかと思って</p>

<p>意見 2</p>	<p>校区自治協議会の会長は別に設けるのか。それとも自治会長の持ち回りか。</p>	<p>います。</p> <p>(協働のまち推進担当部長)</p> <p>【画面説明】</p> <p>それぞれ区自治会があり、小学校区を範囲として、ネットワークを作ります。校区自治協議会を作って、理事会と書いていますが、各区の自治協議会長さんに出させていただいて、理事会の中で、校区でどうしようか、ということについて進めていただきながら、地域課題の情報交換をするテーマごとに、委員会で協議して、その中で校区の会長さんを1名決めていただきたいということです。市内に、7つの小学校区がありますが、2つの小学校区は、地理的要因や伝統的なこともあり、一緒にやろうということになっているため、計6つの協議会ができる予定です。6人の鉾区自治協議会会長さんができますので、校区の情報交換とか、校区の課題をどうしようかという協議を自治協議会連合会でお集まりいただきます。</p> <p>行政としては、この会長さんがお集まりいただく自治協議会連合会とも、いろいろ協働の連携作業もしますし、直接校区ごとにもやりますし、各区の自治体ごとにもやっていくという組織づくり、場づくりをしていきたいということです。校区でお集まりいただきますが、いろいろな地域活動をされる基本は各区の自治会でございます。その中で、区によって、高齢者問題や子ども会育成、駅の周りの環境整備など、やらなければならないことが違いますので、全部が一緒になることはありません。校区の課題を校区に集まって情報</p>
-------------	-------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>現在、運動会を一緒に小学校でやっているが、そういうことを大いにやりなさいという意味ですか。</p>	<p>交換していただくことで、区でやった方がいいこと、あるいは校区でみんなで行った方がいいこと、という課題が見えてくると思います。そういうものを情報交換しながら、取り組んでいこうというものです。</p> <p>(協働のまち推進担当部長)</p> <p>ある小学校では、生徒数が減り、1学年2クラスで、運動会でクラス対抗競技もできにくい状況で、地域の運動会と学校の運動会を一緒にやられているところもあります。各区で話し合いながらやっていただきたいし、まずは情報交換をしていただきたいと思います。</p>
<p>意見3</p>	<p>まほろば号が都府楼で乗り換えをしているが、時間帯によって市役所や五条まで直行のバスを増やしてほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>平成21年4月に乗り継ぎの円滑化に伴う一部ダイヤ改正を行いました。高齢者の方が病院や市役所、いきいき情報センターに行かれる時間帯には、西鉄都府楼前駅で降りることなく、直行で行ける便を創設し、緩和を図ったところですが、そういう状況を一定程度見て、本数が足りないとか、時間帯によって必ず必要だといった場合には、全体のダイヤの調整は必要ですが、バスの台数(8台)や予算(1億円)の制約の中で、今以上に効率的になるような方法を考慮しながら改正したところです。</p> <p>乗り手でありますお客様の満足のいくような方法で今後も講じていきたいと思っています。これが最後ではなく、チャレンジしてやり方を変えて、皆さんの声を聴いて直していますので、もう少</p>

		<p>し今の状況を見守っていただきたいと思います。</p> <p>また、今どこにバスが来ているか分かるようにするために、若い人向けには携帯電話で「バスナビ」で情報発信していますが、高齢者の皆さん向けにも西鉄都府楼前駅前に電光掲示板を設置して、バスが今どの辺りまで来ているのか、画面で分かるような精度を早急に立ち上げていきたいと思っています。</p> <p>なお、4月1日から高雄地域の運行を開始しました。今後、高齢者の多い地域については、まほろば号に準じた形で外出支援できるような施策を講じていきたいと思っています。</p>
	<p>市の職員がたばこを吸う時間が長い。また、市民への挨拶がなされていない。</p>	<p>(市長)</p> <p>市民の皆さんに不快の念(誤解)を与えるようなことは慎んでいく必要があります。また、知っている人であろうが、知らない人であろうが、挨拶するのは当然のことです。職員に対しては、接遇関係に配慮することとします。</p> <p>現在、市役所内は完全禁煙としていますが、絶対的な喫煙スペースがないために、事務所の一部を区切ったスペース化、外で吸わなければならないため、職員だけでなく喫煙者である市民の皆さんにもご迷惑をおかけしていますので、もう少し場所を含めて一考を要すると思っています。</p>
	<p>家の新築されたときのセットバックの指導は？ Yの字に残っている所がある。</p>	<p>(市長)</p> <p>セットバックについては、行政指導の中で、建築基準で道路が4メートルないと家が建てられないため、4メートル未満の場合は、4メートルになる</p>

		<p>までセットバックを求めています。必要に応じて拡幅工事を行う場合は、買収という形を取ります。極力、Yの字に残るようなことがないようにしていますが、交渉の中で、全部買わなければならないとか、そういった状況等が出てくる場合もあります。ケース・バイ・ケースですが、基本は、必要なところだけを最小限で購入していくという形です。</p> <p>(建設経済部長)</p> <p>Yの字になったり、いびつな道路の形になったりしている場合がありますが、道なりに拡幅していくというのがセットバックの基本です。道路の中央から2メートルまでは、道路としてセットバックをしていただくというのが、一つの大前提になります。道路がカーブしたり、曲がっていたりすれば、そのまま拡幅するのが、本当の基本です。それ以外は、道路の整備の中で、一部買収を行うとか、道路の形態を変えていくという方法があります。その場合は、セットバックは適用にならずに、買収の方を中心に行うということになっています。</p> <p>また、本当にわずかであれば、隅切りという制度があり、鋭角に曲がる場合にどうしても角が邪魔になったり、車で曲がる場合に切り返さなければならない場所については、一部土地を購入させていただく形で進めています。今後、十分現地を確認しながら、対処していきたいと思います。</p>
意見 4	広報だざいふ 5月号で、5月時点の太宰府市の世帯数 27,755 に比べ、上水道	<p>(上下水道部長)</p> <p>太宰府市は平成 11 年度まで、自己水</p>

	<p>給水世帯は 22,214 で、排水世帯は 25,593 となっている理由は。</p>	<p>源に乏しく、21 戸以上の集合住宅には水を供給していませんでした。アパート、マンションを建てられるときには、「すいませんが市の水道はやれませんか」ということで、地下水（井戸）を掘っておられました。平成 15 年に鳴淵ダム、平成 17 年に海水淡水化施設が完成することが分かりましたので、平成 14 年 7 月 1 日に給水規制を全部廃止しました。ただし、平成 11 年以前に建てられたアパート、マンションあたりはほとんどまだ井戸水です。</p> <p>また、大佐野と松川浄水場の排水池の高さが 65 メートルで、北谷と内山地域が井戸です。市の水道は供給していません。市の水道普及率が 80%になっていない状況です。</p> <p>逆に、下水道については、市内のほとんどの所で下水道整備が終わりつつあり、北谷と内山地区の工事を今始めており、それ以外の所はだいたい汚水管の整備が終了しましたので、下水道の普及率の方が高い状況です。</p>
<p>意見 5</p>	<p>市民の森から岩屋山に登る登山道の整備が遅れているため、天拝山に比べ登山者が少ない。天拝山に負けないよう身障者や子供も安心して登れるように整備してほしい。</p>	<p>（市長）</p> <p>史跡地や市民の森を含めた「まるごと博物館」、地域のどこに行っても歴史と文化が感じられるまちづくりを目指しています。その出発点として、やっと 2 年目にして、具現化できるようになりました。現在、いくつかの登山道の遊歩道が荒れて、そのままになっています。障害を持つ方が登ることができるような、段差があるところは極力段差をなくし、急激なところは間伐材を活用して階段を作るとか、いろいろな手法を講じて行っていきたいと思いま</p>

		<p>す。「まちぐるみ歴史公園」全体的なものが、公園化したようなまちづくり、そこには四王寺山も市民の森も、天拝山に負けないような形でのまちづくりを行っていきたいと思います。太宰府天満宮だけでなく、観世音寺や戒壇院、政庁跡、水城跡を生かしたまちづくり、回遊していただくようにしたいと思います。</p> <p>【画面説明】 まちぐるみ歴史公園構想</p>
意見 6	<p>坂本のスーパーが無くなって大変不便である。公民館の前の田んぼの地権者を説得するなど、市は生活者への気配りを念頭に、先頭に立って旗振りを行い、スーパーを誘致してほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>まちづくり等については、コンパクトシティ、そこで買物がされて、生活するうえで必要な施設(病院、郵便局等)がそこにある、というのが一番理想のまちづくりで、それを目指したいと思っています。</p> <p>また、スーパー「トーホー」横にまほろば号が横付けできるような要望も聞いておりますので、次のダイヤ改正で検討していきたいと思います。</p>
意見 7	<p>観光客の目線で考えると、関屋の交差点の所から観光は始まっている。季節の花も不足しているし、政庁跡の周りにお茶屋もお土産屋も無い。また観世音寺の駐車場は凸凹できちんと舗装すべき。</p>	<p>(市長)</p> <p>市の玄関口には、施策の中で太宰府らしさを行っていくことが大事だと思っています。現在、当市は景観行政団体になっていますし、歴史や文化を大切に作る取り組みをしていきたいと思っています。</p> <p>【画面説明】 景観まちづくり</p> <p>お茶を飲むところやお土産屋については、私たちも考えているところです。いろいろな業者も来られていますが、その実現については、今後、用途地域の見直し等も行う必要があると思いま</p>

		<p>す。</p> <p>また、駐車場についても、史跡地を有効活用できるような方向で文化庁と協議していきたいと思います。</p>
<p>意見 8</p>	<p>本日の参加者が国分区民の 0.5%程度で市民の意識が低い。自治会制度への移行は、一般市民には伝わっていない。「協働」のイメージが抽象的で分かりにくい。自治会長の具体的な仕事は何をするのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>今までと基本的なベースは変わっていません。</p> <p>全体的には、市民の皆様方がまちづくりに参画できる機会(チャンス)を制度的、システムの的に作り上げる必要があるという思いはありました。</p> <p>また、高齢化や人口減少傾向、少子化が問題になっていますが、地域で支え合うのが希薄になっていたという部分がありましたので、今後、地域力を呼び戻していこうというのが基本の考え方です。</p> <p>幼児から高齢者までが、住み慣れた地域の中で、安心して暮らせるような、そういった支え合う地域力を作っていく、というのが協働のまちづくりの精神です。</p> <p>すべてを行政がやるのではなく、行政は支援を行い、守備範囲を明確にして、地域の課題については、市民の皆様と一緒に考えてやっていこうという考え方です。</p>